

令和6年度地域学校協働活動推進員パワーアップ講座③実施報告

実施日：令和7（2025）年1月14日

◎ 当研修では、社会に開かれた教育課程を実現するために、地域と学校をつなぐ要となる統括的な地域学校協働活動推進員として期待される役割について理解し、地域学校協働活動の推進に必要な知識や技術の習得を図ります。第3回は、14名の方が参加くださいました。

○ 演習「学校を核とした地域づくりに向けた学習プログラムのブラッシュアップに取り組もう」 総合教育センター職員

地域づくりを目指した学習プログラムの企画・評価について考えることをねらいとして演習を行いました。まず、これまでの研修の振り返りとして、「統括的な地域学校協働活動推進員に期待される役割」や、「社会に開かれた教育課程の3つのポイント」について確認しました。その後、どんな地域、どんな子どもになってほしいのかという理想となる部分を考えるためのワークを行いました。自分の住む地域や関わっている学校の子どもの「10年後の望ましい姿・ありたい姿」の具体像を書き出していきました。その姿に向かうために「どんなことができるのか」、「やってみたいこと」について考え、書き出した後、グループごとに共有を行いました。やってみたいことの欄には、「子どもたちにいろいろな経験をさせたい」「子どもの意見を取り入れた行事、イベントを行っていきたい」など様々な事柄が書かれており、地域学校協働活動推進員として、子どもたちや、地域の未来のためにできる事をしていきたいという熱い思いが感じられました。



次に、地域学校協働活動で行っていることが地域づくりに発展していくために必要な3つの視点について確認しました。「児童・生徒が地域住民と交流する機会をつくる」「地域資源を活用する」「地域で活動している団体等との接点をつくる」、これら3つの視点を入れた学習プログラムの作成に取り組みました。現在行っているものをブラッシュアップする形で、「むかしのあそびをみんなでまなぼう！」「地域の観光案内マップを作ろう」など様々な学習プログラムが作成されました。また、次年度の活動に生かすために、活動のねらいが達成できたかどうか、活動後に成果と課題について評価を行うことについて説明がありました。



地域づくりの視点が入ったプログラムが出来上がり、それらがどのように実現されるのかとても今後が気になるものばかりでした。学校を核とした地域づくりについて改めて考え、お互いの意見が交換でき、有意義な時間となりました。

★ 受講者の声 ★

- ・ 普段の活動に追われて、新しいことを考える力がにびっていると感じました。このような研修に来て、演習を行うことは大切だなと思いました。
- ・ 他の市町の取組などを知ることができてとても良かったです。次に生かしたいと思いました。
- ・ 「どんな生徒になってほしいか」という問いから、「こんなことがやりたい」が見つかりました。学校に働きかけてみたいです。
- ・ 今日の研修で様々な学習プログラムが考案されていました。実践できた例があるなら、それらをもっと具体的に知りたいです。成功例は励みになります。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp